

かどがわ

議会だより

May
2024

5

No.178



- ・令和6年度当初予算 …… 3 P
- ・一般質問 6人が登壇 … 8 P
- ・議員活動報告 …………… 16 P

令和6年度当初予算 各会計とも可決

会計	予算額	前年度当初予算比較
一般会計	92億7,200万円	4.9%増
国民健康保険事業特別会計	22億8,036万7千円	3.4%減
後期高齢者医療特別会計	5億7,404万7千円	12.6%増
介護保険事業特別会計	16億6,657万2千円	3.4%減
簡易水道事業特別会計	1,734万5千円	34.7%増
水道事業会計	5億7,050万9千円	1.2%増
合計	143億8,084万円	2.6%増

一般会計予算（歳出）の主なもの ※目的別

総務費（電算整備事業や情報システム標準化事業等）……	22億7,005万4千円
民生費（健康長寿事業や包括的支援事業等）……	33億2,712万9千円
農林水産業費（森林環境譲与税事業等）……	3億60万4千円
消防費（常備消防費【広域消防業務】等）……	3億4,364万2千円
教育費（文化会館・クリエイティブ管理事業等）……	9億2,436万9千円
衛生費（ごみ処理事業等）……	6億6,949万3千円
土木費（道路新設改良事業等）……	4億4,462万3千円

昨年度の予算に対し増額予算となった主な要因は、地方公共団体の情報システムの標準化に向けた事業や総合文化会館のホール天井改修工事などが予定されているため、また、増額したものとして、LGWAN系・基幹系業務用端末の購入や国道10号線と県道土々呂日向線を結ぶ都市計画道路である「加草中村線」の整備を行う街路事業がある。



竹名中村線法面補修工事予定場所

令和6年 第一回定例会

令和6年第一回定例会は、3月5日から22日までの18日間開会されました。

令和5年度補正予算、6年度当初予算、条例の改正・制定、諮問、請願など26件を審議しました。6日には6人が登壇し、空き家対策や学校給食についてなど計10項目の一般質問を行いました（関連記事10～15頁）。

令和5年度3月補正予算 各会計とも可決

会計	補正予算額	補正後の予算額
一般会計（11号・12号）	5,436万2千円増	105億3,721万5千円
国民健康保険事業特別会計（3号）	1億8,410万9千円減	24億5,507万6千円
後期高齢者医療特別会計（2号）	1,160万2千円減	5億2,932万6千円
介護保険事業特別会計（4号）	224万5千円減	19億80万4千円
簡易水道事業特別会計（2号）	145万7千円減	1,480万8千円

一般会計補正予算（歳出）の主なもの

財政調整基金等への積立金……	4億8,941万円増
地区防犯灯等LED化補助事業など……	2,774万円増
プレミアム付商品券等発行事業……	1,145万円増
マイナンバーカードなど電算管理事業……	1,115万円増
漁港建設事業……	429万円増
砂防事業……	450万円増



令和5年度の門川元気復興券

令和6年度一般会計補正予算(第1号) 全員賛成、可決

会計	補正予算額	補正後の予算額
一般会計(1号)	1億874万3千円増	93億8,074万3千円

衛生費「し尿処理施設建設事業」の業務委託料に1,746万8千円、工事請負費に1,457万5千円、また、教育費の工事請負費として、「総合文化会館ホール天井改修工事等」に7,270万円、「遊具等新設工事等」に400万円追加する。

表 決 表

各議員の審査結果 (○：賛成、●：反対、－：議長)

議案名 (全員賛成の議案は除く。)	黒田 耕右	寺田 泰隆	岩切 義樹	魚永 崇貢	松本 良一	田中 豊和	宇都宮三良	米良 格	中城 資力	岩佐 祐一	森川 春夫	神崎千香子	出口 希俊	森 誠一
令和5年度門川町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
令和6年度門川町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	●	－

討 論

議案第20号令和6年度門川町一般会計予算審査について

反対



米良 議員

財政が厳しいのは認識していますが、次の三つの論点から反対いたします。

- 1、妊娠、出産、子育て中の方々の希望、要望が十分に予算に反映されていない。
- 2、国、県の子育て・少子化対策に準じ力点を入れ予算をつけるべきで、産婦人科・小児科医院のない本町での独自の子育て支援のための予算付けをお願いしたい。
- 3、子育て世代が「門川町は子育てに気を遣っている」と感じ、充実した町であるとアピールできる程度の予算配分をお願いしたい。

賛成



松本 議員

行政運営の基本であります「最小の経費」で「最大の効果」を得るといふ大原則のもと、町民の生活向上のため、各種施策執行に必要な予算が適正に配分されておりますので賛成します。



いろんなことが決まりました。

条例の改正等

**会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
職員の育児休業等に関する条例の一部改正**

令和6年度より会計年度任用職員に対して適切に勤勉手当を支給するため、門川町会計年度任用職員の給与並びに費用弁償に関する条例及び門川町職員の子育て休業等に関する条例の一部を改正するもの。

企業立地促進条例の一部改正

「新規雇用者」の定義について、「新たに設置した工場等の操業開始日から一年以内」を「操業開始日から一年を経過する日の属する年度末まで」と改めるもの。

(全員賛成・可決)

保育所における保育に関する条例の一部改正

保育所における保育基準に「育児休業取得時に、既に保育を利用している児童がいて継続利用が必要であること。」を追加し、保護者が育児休業を取得した場合においても、上の子どもが保育所等を継続利用できるようにするもの。

(全員賛成・可決)

介護保険条例の一部改正

令和6年度から令和8年度までの計画である「第9期門川町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」で算出された介護保険事業に要する費用の総額に対する第1号被保険者負担分介護保険料を改定するもの。

(全員賛成・可決)

認定及び廃止

町道路線の認定及び廃止

町道小野田大久保線につきま

して、道路延長の短縮に伴い起点の変更となるため、現在の路線を廃止し新たに認定を行うもの。

(全員賛成・可決)

一部変更

定住自立圏形成協定の一部変更

宮崎県北圏域では延岡市が中心市となり、門川町を含む県北8市町村が近隣市町村となつて、平成22年1月に定住自立圏形成協定を締結し、その後、令和2年3月議会で協定の一部変更を行っている。

今回の変更は、令和5年6月に総務省において定住自立圏構想推進要綱が改正されたことによる協定の一部変更である。

請願第1号

子育て人づくりセンター「ひだまりはうす」に助産師継続を求めるとの請願書

請願第2号

学校給食費の無償化についての請願

請願の要旨「学校給食は人間の生活の基本である食事・食文化を伝える教育の柱の一つとなつています。その学校給食費を無償化することについて署名を添えて請願します。」

本定例会上げ後、産業建設文教常任委員会に付託されて閉会中の継続審査となる。

令和6年度当初 予算委員会審査

産業建設文教常任委員会

〈農林水産課〉

林業費では林業資格取得支援事業等、水産業費では漁労機器等導入支援事業等が新規事業として予算計上されている。

問 水産業費の魚礁等効果調査業務の委託先とその効果は。

答 ダイバーの資格を持った専門業者に委託し、6カ所の魚礁等の調査を年1回と、ウニ駆除を目的とした業務を年に2回、2カ所の魚礁等で行う予定。

〈教育課〉

問 SPS（セーフティプロモーションスクール）の今年の活動内容は。

答 門中と門高が認証を受け、更に3年の更新を受けた。計画では、先進地視察、校内での訓練等の体制、防災、交通安全や生活安全など幅広く活動する。

問 文化会館ホール天井改修工事の補正額は。

答 当初予算の計上後に工法方向性が決まって見直した結果、この額の追加が出た。



文化会館ホール天井裏

〈建設課〉

問 一般家庭の耐震診断の費用は。

答 診断費の負担はなく、申請時に手数料が必要だが、後で補助される。

〈地域振興課〉

問 心の杜近隣公園改修設計業務の内容は。

答 遊具の老朽化が進んでいる。遊具の更新を含め、遊歩道、展望台など、公園全体の改修を目的とするもの。



心の杜近隣公園

〈環境水道課〉

問 本町の水道の耐震適合率は。

答 基幹管路φ150mm以上の管で、31.5%。全管では12.3%。町全体の延長は154km。耐震適合率が8割以上になるのは、何年後か。

問 耐震化工事を始めて、6年目で、延長は9km。1年で平均1.5km。このペースで行けば100年後になる。その頃には最初の部分が耐用年数を過ぎており、終わりはない。次期衛生センター新設工事に係る基金の活用は。

答 現在の計画は、公共施設等整備基金が10億円、一般廃棄物処理事業債を活用して約25億円を借入れする。起債に対する交付税措置率が、30%で約7億程度を見込んでいる。



現門川町衛生センター

総務財政厚生委員会

〈総務課〉

問 防犯灯の設置について、数の見直しは考えられないのか。

答 庵川地区は電柱が少ない。設置については、30メートルから50メートルに一基を考えている。また避難所への電灯設置は、自主防災活動資金を活用して整備していただいている。

問 個別受信機が聞きにくいとの話を聞く。防災時のため区長や町民に確認してもらうためにも月一回のテスト放送をしたり、Jアラートの関係など、町民への説明が必要なのでは。

答 町の設置している防災行政無線の受信については、要望があれば、検討可能だが、Jアラートの放送テストが行われているので、その際に確認していただくしかない。



個別受信機



防犯灯

〈税務課〉

問 入湯税（心の杜）が減少しているが、コロナ禍も終了して入館者は増えているのでは。

答 過去5年間の平均入館者に、5%を増加した人数で積算している。

〈財政課〉

問 衛生センターの起債の返還はどうなっているのか。公債費の上昇は大丈夫か。

答 5年据え置き30年返還。財政的に無理のないように行っていく。

〈企画戦略課〉

問 西門川地域活性化業務に関する調査事務の内容は。

答 観光まちづくり、例えば古民家の活用とかの可能性調査として実施する。

問 乗合タクシー運行についての見直しは

答 南ヶ丘地区等の3カ所の坂道については、新年度からフリー乗降を予定している。



かどっぴータクシー（乗合タクシー）

〈健康長寿課〉

問 産前産後サポート事業の業務内容は。

答 子育て人づくりセンターで各種イベントを開催しながら、お母さんたちの悩みを傾聴する事業。相談内容は母乳・断乳や離乳食、子どもの便秘など多種に及ぶので必要に応じて、専門機関につないでいる。

〈福祉課〉

問 重度障がい者等タクシー料金助成事業とは。

答 重度障害者のうち要件を満たす方に年間12枚のタクシーチケットを交付する事業です。



いわきり よしき 岩切 議員

問 空き家対策について

答 課題を共有し、調査・研究を進めている

岩切

能登半島の地震で

は、多くの死者が家屋倒壊で亡くなり、輪島市では道路閉鎖や倒壊家屋の影響で消防車が現場に到達できず火災で広範囲が消失した。本町も沿岸部に倒壊の恐れがある空き家が多くあるが、空き家につ

いて調査・対策を知りたい。

町長

本町も地震による揺れで家屋の倒壊や道路閉塞、火災の危険がある。空き家も増加し、管理が行き届かない場合、近隣への影響や景観への悪影響も懸念される。地方自治体は対

応が難しいため、国は特別措置法を施行し、空き家対策を推進。本町も「門川町空家等対策計画」を策定、空き家調査や老朽化した危険家屋の対応を進めている。現状や課題は関係課で共有し、国の被害検証も参考にし

岩切

「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の改正に伴って、町としてはどのようなことに、今後取り組んでいくか。現在、特別措置法改正に独自の取り組みは行っていないが、個別に対応している。手順は、危険

な家屋への連絡、現地調査、所有者への通知、そして所有者との協議。過去1年間で3〜4件の撤去処分があり、1件は協議中。

岩切

固定資産税が軽減されるため、建物を壊さないケースが多い。これについての対策は。

岩切

住宅が建っている土地に関しては、特別措置で固定資産税が安くなっているが、特定空き家に関して、特例を外すというような措置は現在行っていない。

岩切

資金不足で壊せない場合、町の補助金

はないのか。また国や県の補助金はあるのか。

環境水道課長

特別措置法に基づく強制執行は、協議計画や協議会の設置を経て進むが、まだ協議会の設置は進んでおらず、補助金に関しては県の動向を見て調査を進める考え。

岩切

空き家バンクの活用状況は。



亀裂の入ったブロック塀



倒壊の恐れのある家屋

地域振興課長
令和2年から令和5年までの間、延べ43件登録。うち19件が契約が成立。県外、大阪京都、各会場に移住相談会などを開催している。



うおなが たかつく 魚永 議員

問 子育て家庭センターの創設について

答 設置を検討している

魚永

「子育て家庭センター」の業務内容は、進学、就職、住まい、結婚、出産、育児、子育て、ヤングケアラーのライフサイクルに関する全般のサポート事業であるが、窓口を一本化し、「子育て家庭センター」を創設し

てはどうか。本町の見解を伺う。

町長

門川町においては、「子育て家庭支援拠点」を令和5年3月に設置し、福祉課と健康長寿課の両課において、妊娠中から子育てに困難を抱えた家庭について、情報共有し、連

携・協働して支援を行う。

魚永

「子育て家庭庁」が所管する政策は、誕生前から幼児期、学童期、思春期、青年期を含み「子供・若者」が当事者とされている。長年の課題とされてきた年齢の壁、子供が必要とする施策ごとの制度の壁、施策を講じる関係課の縦割りの壁、これらの「三つの壁」を取り払い、統合的、一体的に支援していくことが大事だと考える。本町の見解は。

健康長寿課長

令和4年の改正福祉法を受けて、門川町の「子育て家庭センター」設置を見据



子育て人づくりセンター（ひだまりハウス）

えた協議を重ねている。組織体制をはじめめとする設置運営方法を検討しているところである。

子育てひとづくりセンターについて

魚永

子育てひとづくりセンター「ひだまりハウス」は、産前産後サポート事業を3年間、行ってきた。昨年は、近隣の市町

村から6000名を超える利用者数があり、大変、喜ばれている。利用者のお母さんたちが求めていることは、4月から変わりない「産前産後に関する事業の継続」である。本町の見解を伺う。

町長

4月からの地域子育て支援拠点事業については、子育てひろばを開設し、親子が自由にきて、それぞれ好きな行事遊びを楽しむ、交流することを継続している。具体的な行事や内容は、協議を行っている。また、子育て人づくりセンターを利用して実施する産前産後サポート事業は、事業目的に沿って、対象者への

相談支援や交流支援を行い、孤立感の軽減を図り安心して妊娠を過ごし育児に臨めるようサポートする。

魚永

運営内容は、常勤、パートは施設管理者が決める。病児病後児保育、産前産後サポート事業は、助成金を利用して町外機関で対応して頂く。

福祉課長





めら いたる 米良 議員

問 門川町福祉交流センターについて

答 営業施策の見直しを図っていく

米良 かどがわ温泉『心の杜』改善計画の状況は。

町長 令和4年から6年

にかけて18項目のアクションプランに沿って、経営改善を講じている。経営改善チームのもと営業時間短縮、情報発信の

整備、収支改善に努めている。

米良 5年度の経営状況

は。

町長 コロナ禍が落ち着きイベント、集客に向け取り組んできた。回復傾向にあると認識している。



かどっぴー親子

米良 6年度以降の運営

方針は。

町長 イベントにより賑

わいが戻りつつある。心の杜においての工夫を凝らしたイベント、企画を実施していく。

米良 努力は認めるが、

本年度決算でも7千万から8千万の赤字になると危惧されている。対処方法

と責任の所在は。

地域振興課長

大規模工事など投資的経費を差し引いても7千万円程度の赤字になる。

責任の所在については、最終的には町長判断となるが、経営改善委員会としてはそのような意味で動いていない。

米良 本町の学校教育・社会教育について

本町の子供たちの



心の杜

学力向上については、現状と課題は。

教育長

昨年12月実施の標準学力検査では、昨年度と比較し若干の伸びが見られた。

米良 本町の子供たちへの

の語学教育、英語教育の現状は。

教育長

ALT(アシスタントランゲージティチャー・外人)2名を配置して小中で、ネイティブな英語に触れる機会を増やしている。

米良 本町内でのいじめ

の現状は。

教育長

令和4年度で小学校345件、中学校3件となっている。

冷やかし、悪口など

その後の処理でほぼ解決している。重大案件は発生していない。

米良 本町も町制90周年

を迎えるが、町史編纂の考えは。

教育長

町史の編纂は重要で、時間を要するもので町政施行100周年に向け取り組んでいく。

米良 第3次教育振興基

本計画に関する教育長のお考えは。

教育長

『明日の門川町を担う優れた人材の育成』を目指す。

めたいと思っ

黒田 町長の思いはどうか。

町長 今の段階では難しい状況にある。

黒田 他の自治体は、予算化し取り組んでいる。門川町も同様に歩んでいくのは難しいのか。

財政課長

今後、門川町を持続可能な町として堅持していく責任があり、財政の健全化において危険な判断となる。今のところ財源確保は厳しい。

黒田 全国的に問題とな

っている教職員の勤務実態だが、門川町ではどうか。

教育長

時間外勤務が月80時間を超える教職員が散見される現状もあり今後改善すべき課題の一つとなっている。

黒田 自宅に持ち帰って

採点など行っている

状況などは把握しているか。

教育課長

把握は出来ていないが、スクールサポートスタッフなど色々な専門スタッフを配置し、教職員のサポートをしてもらっている。

黒田 様々な課題がある

教職員の勤務状況に

ついて教育長の思い

は。

教育長 本来の教職員の仕事に専念できる環境を作り、子ども達に向き合う時間を増やし、充実した学校教育に結びつけたい。そんな中で将来教職員を目指す人材が増える環境づくりをしていきたい。



くろだ こうすけ 黒田 耕右 議員

問 門川町でも学校給食費無償化へ

答 国や県に要望していく

黒田 学校給食費無償化へ向けて

学校給食費の無償化へ向けた取り組みは出来ないか。

町長

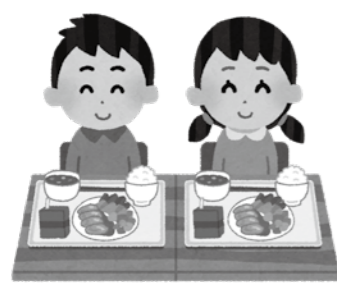
現段階では予算の確保が難しく、国や県へ継続して要望していく。

黒田 今回、給食費無

償化の請願署名が800名分集まった。多くの町民が給食費無償を求めていると思うが、町長はどう思うか。

町長

署名が集まった事実はいっしょに受け止





かんざき ちかこ
神崎千香子 議員

問 ベッドタウンの強みをどう活かす

答 町総合戦略で取り組む

神崎

新産都市に指定され、今後ベッドタウンの強みを活かして、どのような政策の展開を考えているか。

町長

創業支援補助金、個別創業塾の開催、サイクルロゲイニングの実施等、児童ク

ラブの増設等、総合戦略の各プロジェクトの展開で人口の増加を図っている。

少子化対策と子育て支援

神崎

かどかわこども・子育て支援プランの進捗と効果は。

町長

本プランは、6年度までの5年間だが、概ね計画通り進めている。

主な効果は、待機児童が令和3年度からゼロ人になった。病児・病後児保育は、昨年10月から近隣の施設利用者に、利用料の助成支援を始めた。放課後児童クラブは、4箇所から5箇所を増設した。

神崎

門川町における病後児保育の計画はどうなっているのか。

福祉課長

次の計画で、協議していく。

神崎

減額した年600



こども食堂 草っこ広場

して、工夫できると考えた。

神崎

町はこのセンターでは、「妊娠、出産期支援を行って段階的に拡充していく」としている。

町の方針通り、センターに常時助産師がいてもらったからこそ、多方面で、専門的ケアが評価を得て、町内外の利用者が増えてきている。

福祉課長

令和6年度からは、新しい指定管理者の元で、保育士さんもいるので、相談業務など通常通り行

う。

神崎

昨年12月に、子育てセンターの指定管理の契約議案を否決してから、利用者の声を直接聞いたか。

町長

1月24日署名簿と要望書を受け取った時に、意見交換を行った。



子育てづくりセンター（ひだまりハウス）



てらだ やすたか
寺田 泰隆 議員

問 子ども・子育て支援や学校生活環境について問う

答 健康面や安全面を最優先に迅速かつ丁寧に対応していく

寺田

子ども・子育て支援について新しい施策などあるか。

町長

低所得者世帯に対するファミリーサポートセンター利用助成事業、育児休業に伴う退園の見直しの二つ。

寺田

伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業は妊娠から出産、育児期にわたる総合的なサポートが継続的に提供される理想的な事業だが予算確保は。

健康長寿課長

確保済み。

寺田

給食費無償についてまず、小学6年生、中学3年生だけでも行うことは出来ないか。財政ことや、給食監視機能を残したいことも考えの提案。

町長

食料費は保護者の一律負担と考えている。一部補助が可能である場合には、対象者へ均等に補助するのが適切と考える。

寺田

所得制限なしという世帯ではなく、まちが子どもに直接支援するという考え方については。

教育課長

進学にかかる費用等は子どもというよりは家庭が支出しているという考え。

寺田

草川小学校の水道から錆が出ている事や数か月にもわたり学校の時計が壊れていてなかなか修繕や改修がされない。人体にも影響を及ぼしかねないこのような学校生活環境についての対応は。

教育長

子ども達の健康面や安全面を最優先に、迅速かつ丁寧に

対応していかなければならないと考えている。浄水水質検査等では飲料水としては問題ないという結果。念のためカートリッジ式のろ過器を装着し対応している。普通教室前の配管の更新工事は3月末までに完了する。その他の部分も順次更新していく。時計は新年度の予算で対応していく予定。

各学校の状況を把握し、優先順位をつけて対応していく。

寺田

通学路の危険な場所について交通事故や犯罪から子どもたちを守る町の施策は。

教育長

年度始めに通学路点検を実施し、状況把握や校区内安全マップを製作し周知している。さらに、「門川町通学路交通安全プログラム」を策定している。



長針が外れたままの時計

討 論

議案第5号 門川町の公の施設に係る指定管理者の指定について (門川町子育て人づくりセンターの福祉施設)

反対



米良 議員

第2期子ども・子育て支援プランに逆行している。政府が異次元の少子化対策を進める中、他の事業費を削ってでも指定管理料600万円を減額せずに現在の産前・産後サポート事業を継続していくべきである。



魚永 議員

国は子育てトータルプランに基づきこども家庭庁を創設、県はこども家庭センターの新基準設置を計画、出生率向上を目指している。町は母親の署名や要望に真摯に対応を。助産師さんが相談に乗っていただいている産前産後サポート、産後ケアが重要である。予算とサービスの継続を求める。



岩佐 議員

福祉向上に努める議員として助産師の削除は看過できない。子育て支援の重要性を認識、執行側に対して反対して存続を求める。提案は執行側からであり、反対されれば迅速に見直すべき。議案が通らないと4月からの開園が危ぶまれるとか、脅かしのようなことを執行側は言うべきではない。

賛成



中城 議員

減額した600万円は病児・病後児保育の調査研究費であり、他施設を利用した場合の費用を県と町が半分ずつ負担する無償化事業として昨年の9月議会で議決した。産前・産後サポートは健康長寿課が別事業で取り組んでいる。否決すると再募集の準備を含め6か月閉鎖が必要となり、ファミリーサポートやボランティア育成なども影響が出る。



森川 議員

これはひだまりハウスの事業者の可否を決定する議案である。議論は事業内容に偏り、一般質問での対応を提案する。事業者は選定委員会を経てから提案されている。事業者が決まらねば施設閉鎖や事業中止の可能性もある。



田中 議員

子育て人づくりセンターの指定管理者として、有限会社やちよを指定することに賛成する。



令和6年 第1回臨時会

第1回臨時会は1月29日に開会し承認1件、議案6件が審議され賛成多数で可決された。

承認第1号令和5年度一般会計補正予算(第10号)の専決承認について

国の「物価高騰対応重点支援地方創生交付金」による低所得世帯への追加支援策に伴う事業を速やかに進めるため8,272万円を追加。令和5年度一般会計歳入歳出の予算総額は、104億8,285万3千円となった。

議案第1号門川町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

事業者が行う地域経済牽引事業の実施に必要な土地・建物等について、固定資産税の減免措置を3カ年受けることができると定めた。

議案第2号～第6号門川町の公の施設に係る指定管理者の指定について

指定管理者制度により運営を行っている7施設について、採決が行われた。

施設名	指定管理者	採 決
門川町総合文化会館	(公財) 門川ふるさと文化財団	全員賛成・可決
門川勤労者総合福祉センター		
門川海浜総合公園	(公財) 門川ふるさと文化財団	全員賛成・可決
門川勤労者体育センター		
門川町総合福祉センター	(福) 門川町社会福祉協議会	全員賛成・可決
門川町子育て人づくりセンター	(有) やちよ	賛成多数・可決
門川町営住宅	県北住宅管理センター	全員賛成・可決

表 決 表

各議員の審査結果 (○：賛成、●：反対、欠：欠席、－：議長)

議案名 (全員賛成の議案は除く。)	黒田 耕石	寺田 泰隆	岩切 義樹	魚永 崇貢	松本 良一	田中 豊和	宇都宮 三良	米良 格	中城 資力	岩佐 祐一	森川 春夫	神崎 千香子	出口 希俊	森 誠一
議案第5号 門川町の公の施設に係る指定管理者の指定について (門川町子育て人づくりセンター)	○	○	○	●	○	○	欠	●	○	●	○	●	●	－

佐賀県白石町議会へ行政視察研修

(佐賀県：白石町役場)

令和6年2月6日(火)に門川町議会と美郷町議会の議員合同で佐賀県白石町議会に研修に行きました。議会活性化の取組みについて先進的な取組みをされており、大変有意義な研修となりました。

今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

主な研修内容

- 議会改革の歩みについて
- 議会基本条例について
- 議会出前講座の実績について
- 常任委員会代表質問について
- 議会だより、YouTube 配信、タブレットの運用効果について
- 質疑、意見交換等



議員を対象としたハラスメント研修を実施

(門川町役場 議会会議室)

令和6年2月21日(水)に門川町議会議員全員を対象にハラスメント研修を実施しました。

テーマ「ハラスメント防止は働く人みんなの問題」～誰もが働きやすい職場づくりに向けて～

講師：工藤 智徳 氏 (人財科学研究所 代表)

目的：スムーズな業務や人間関係のために
パワーハラスメント防止を考え、あ
わせてアンガーマネジメントを理解
する

- ハラスメントとは
- ハラスメントは働く人みんなの問題
- 職場(組織)におけるパワハラとは
(パワハラの3要素)
- パワハラでないとしても配慮すべきこと
- アンガーマネジメント

研修後、受講者全員でパワハラチェックを行いました。自分の言動を見つめ直す良い機会になりました。



議会活動報告

日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会 議員研修会が開催されました

(日向市：ベルフォート日向)

令和6年1月12日(金)に日向市議員・東臼杵郡の町村議員を対象に研修会が開催されました。

テーマ「質問力を高める 議会力にいかす」

講師：土山 希実枝 氏

自治体と「政策議会」、議会にとっての一般質問(その機能と課題)、一般質問はなぜ機能していないか。

以上のようなことについて深く掘り下げていき、「いい質問」について講演いただきました。グループディスカッションを行い、参加した議員全員で考え、意見を出し合いました。質問力を高める為の良い学びとなりました。



宮崎県町村議会議員 全議員研修会が 開催されました

(三股町：三股町立文化会館 ホール)

令和6年1月31日(水)に県内の町村議員を対象に全議員研修会が開催されました。

テーマ「心に寄り添う生き方～頭と心を整えて対応するとは～」

講師：工藤 智徳 氏 (人財科学研究所 代表)

目的：問題は誰にでも起きるので、困りごと
や悩みを一人でかかえている人へ寄り
添うための方法やあり方を学ぶ

- 自殺防止センターや地方公共団体職員に関するメンタルヘルス対策
- 寄り添い傾聴するための方法
- 寄り添う人のあり方
- 幸福感(ウェルビーイング)とは

以上のようなことにつきまして講演いただきました。



議員表彰

宮崎県町村議会議長会表彰 町議会議員12年以上在職

おめでとう
ございます



森川春夫氏



黒木 裕氏



土木業界ではまだ女性は少数ですが、その業界で30年以上も働いている女性にお話をお聞きしました。

「自然豊かな山の中の現場が好きです。」と、やり甲斐をもってお仕事をされており、素敵な笑顔で話しをしていただきました。門川町のライフラインを支えていただきありがとうございます。



議会だよりで紹介したい「輝くひと」を募集しています。業種や団体問わず応募をお待ちしております。

(議会広報編集特別委員会)

次回6月定例会の予定

6/4(火) ～ 6/11(火)	4日(火)	(開会)議案の上程
	5・6日	一般質問
	11日(火)	議案の採決(閉会)

左記の日程で開催を予定しています。日程は変更になる場合がありますので、町のホームページ等でご確認ください。

編集後記

小学校、中学校を卒業された皆さん、ご卒業おめでとうございます(祝)ちょっとさみしいでしょうけど、新学期から新しい友達、先生との出会いも待っています。学校生活を思いっきり楽しんでください。そしてご入学される皆様、おめでとうございます。

■発行者/門川町議会議長 森 誠一

■編集/議会広報編集特別委員会

〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号 TEL(0982)63-1140

■議会広報編集特別委員会/委員長 出口 希俊 副委員長 岩切 義樹
委員 黒田 耕右 魚永 崇貢 田中 豊和 寺田 泰隆

■印刷/株式会社 ながと